

中経 論壇

経営支援NPOクラブ監事
山口 浩利



この9月に満78歳を数え、運転免許の高齢者書き換えの2回目を受けたところ、幸い認知症の再検査は免れて無事更新ができた。中高生の頃、自分がオーナーになるとか、国産車がアメ車にとって代わるとは夢にも思わなかったが、マイカーの運転歴も半世紀を優に超えたことになる。

この間、日本は高度成長期を経て、シャバン・アズ・ナンバーワンの評価を得たが、その後、バブルが崩壊し、失

われた20年といわれる時期を経験することとなった。私自身、企業戦士よりしく激動の時代を生きて、65歳でリタイアして、中小企業の支援を標榜するNPO組織に入会した。それから十数年、日本は超高齢化社会に突入し、出生数も100万人を割りこみ、人手不足や事業継承の問題など、混沌の世界へと向かっている。

さて、最近、歳のせいかわ

いろいろな不満を感じることも多い。事例を挙げて識者のご批判をいただきたいと思う。

◇ (1) アメリカは、なぜ銃規制に向けての舵を切らない

昨今の政治に思う

のか。超党派で一気つけて審議すべきである。自に連邦法を改正するようなアメリカらしさが見たい。さもなければ、民主国家のリーダーを自負する看板を下ろすべきではないか。

(2) 一国の首相が「謙虚にそして丁寧に」とおっしゃるが、そうになっているかどうか、国民の評価を謙虚に聞いてほしい。世の中の普通の感覚とは、かなり

のずれを感じる日々である。野党側にも責任を果たしてほしい。ワンパターンで突っ込み不足の質問には辟易してしま

(3) 国会は、重要施策に優先順位を

つけて審議すべきである。自己の責務である歌を忘れた(または知らない)議員さんたちには遠いてもいい、この際、一気に定数を半減したらいいか。2世3世議員は、良き伝統を継いでこそ、世襲の価値がある。良き伝統とは「無私」の精神で国民に奉仕するということ、政治家相応の資質と見識を備えることだと思うが、さて合格点をもらえる方はどれほどか。

(4) 社会の木鐸たるべきマスコミは、事実を公平に報道して、その上で自社の見解を述べるのが原則ではないのだろうか。一流紙を自負するならば、トランプ流のフェイクニュースがあつてはならない。また、最近のNHKには違和感を覚える。民放との違いは、受信料が徴収されることである。有料ならば優良番組であつてほしいと思うが、民放と違いを感じない番組が多いように思う。影響力の大きいマスコミ界の方に、あえて苦言を呈したい。

自問自答なぜだろっつか?

あえて苦言を呈したい。